



広 報

社 協
だ よ り



おしらせ版

vol.26

発行：令和7年9月16日

新庄市社会福祉協議会

電話：22-5797

【10月号】

八向中学校にて認知症サポーター養成講座を開催！

認知症を知り

地域で支える！



令和7年8月29日(金)、八向中学校の全校生徒26名を対象に、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

前半は、DVD視聴を取り入れた講義を聞き、認知症に関する全般的な知識を習得しました。

後半は、生徒自身が認知症をテーマとした寸劇を行い、「認知症の方の立場」や「支援者の対応」を演じることで、認知症の方が感じる不安や混乱を知り、認知症の方を支える家族としての接し方などの理解を深めることができました。

「認知症」は、誰でも起こりうる身近な脳の病気です。

認知症を学び地域で支える「認知症サポーター」になってみませんか？出前講座も可能ですので、受講を希望される方は気軽にお問合せ下さい。

お問い合わせ ○地域包括支援センター
☎ 28-0330

認知症サポーターに期待されること

- 認知症に対して正しく理解し、偏見をもたない。
- 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る。
- 近隣の認知症の人や家族に対して、自分なりにできる簡単なことから実践する。

認知症サポーター養成講座とは

新庄市社会福祉協議会／地域包括支援センターでは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は、地域住民、金融機関等の従業員、学校の生徒など、様々な方が受講しています。



もみの木訪問介護事業所 アンケート調査を実施しました

新庄市社会福祉協議会では、本会が運営している、訪問介護事業の更なるサービスの質の向上を目的とし、ご利用者様のご意見をお伺いするため、8月にアンケート調査を実施いたしました。

職員一同サービスの質の向上を図り、皆様に安心・丁寧なサービスを提供できるよう努力してまいります。

○無作為20名抽出し17名から回答。

回収率85%（訪問留置調査）

○全結果は、新庄市社会福祉協議会ホームページにて公開しています。



【調査結果（一部抜粋）】

問3 ヘルパーの言葉使い、態度、身だしなみは良いですか。

はい:16名、いいえ:0名、無回答:1名

問4 ヘルパーは、時間どおりに来て、決められた仕事をしてくれますか。

はい:16名、いいえ:0名、無回答:1名

問5 ヘルパーが違ってても、同じようなサービスが提供されていますか

はい:15名、いいえ:0名、無回答:2名

問6

【調理サービスを利用の方への質問】

ヘルパーは、あなたに合った食事を作っていますか

はい:7名、いいえ:0名、無回答:0名

「災害時連絡方法のてびき」 寄贈いただきました

ありがとうございます
ございました



8月27日（水）、公益財団法人日本公衆電話会様より「災害時連絡方法のてびき」400部を寄贈いただきました。

このてびきは、災害用伝言ダイヤル（171）での安否確認サービスや、大規模災害後の公衆電話の利用方法などについてわかりやすく記載されています。

大規模災害に備え、地域サロン等に配布するなど、有効に利用させていただきます。ありがとうございました。

おらせ

【今月の弁護士相談】
10月16日（木）

【申込み】電話予約が必要です。10月1日（水）から、電話による受付を開始します。

【時間】13時30分～16時の間の30分（無料）

赤い羽根共同募金「企業募金推進委員」募集のお知らせ

新庄市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金の企業募金活動を推進する『企業募金推進委員』を募集しています。

企業募金推進委員は、地域の企業・団体に対して募金の趣旨を伝え、協力を呼びかける役割を担います。地域貢献に関心のある方、福祉活動に携わりたい方のご参加をお待ちしています。お気軽に、お問い合わせください。

■問合せ先:新庄市社会福祉協議会 小野まで

